

「持続可能な産業構造を実現し、社会インフラとしての役割を果たす」

ジェネリック医薬品産業ビジョン2035

日本ジェネリック製薬協会

ジェネリック医薬品産業ビジョン2035 策定にあたって

わが国のジェネリック医薬品産業は、医療費適正化と社会保障制度の持続性に貢献するとともに、国民に必要な医薬品を安定的に供給する重要な役割を担ってきました。その結果、2021年には数量シェア80%を達成し、国民医療を支える基盤として大きな役割を果たしています。

一方で、近年は品質問題や医療現場や国民の皆さまから寄せられる期待や要請は大きく変化しています。品質の確保はもとより、安定供給体制の強化、人材・技術基盤の充実など、産業全体として「量の拡大」から「質の向上」へと軸足を移し、信頼される産業へと変革していくことが求められています。

本ビジョンは、2035年のあるべき産業の姿を見据え、その実現に向けた方向性を示すものです。目指すのは、品質と安定供給を両立し、国民の生命と健康を支える「社会インフラ産業」として、より強固な信頼を築くことです。

その実現のためには、個々の企業の努力だけではなく、産業全体が将来を見据え、変化を恐れず挑戦し続けることが不可欠です。本ビジョンが、会員企業をはじめ、行政、医療関係者など多くの関係者と未来を共有し、持続可能なジェネリック医薬品産業の実現に向けた共通の指針となることを期待しています。

持続可能な産業構造を実現し、社会インフラとしての役割を果たす

ジェネリック医薬品産業ビジョン 2035

－ 私たちの約束を果たすための4つのVision －

Vision 1

自社の強みや特徴を活かした経営

- ・自社の強みや特徴を明確化し、存在価値を高める
- ・特徴ある製品開発や付加価値を高める取り組み
- ・信頼に基づく企業間の連携・協力の推進

製造管理・
品質管理
体制の確保

Vision 2

モノづくり力のさらなる強化

- ・投資と利益の循環で、製造設備の強化を図る
- ・自動化や省人化で、人不足の解消を図る
- ・人材の育成と、技術の伝承を図る

ガバナンス

コンプライアンス

リスクマネジメント

Vision 3

ボーダレス・グローバル/新たな市場の構築

- ・異業種連携により産業の枠を超え、新たな事業を創出する
- ・海外市場へ進出し、新たな市場を開拓する
- ・薬事規制のハーモナイゼーションの進展に積極的に取り組む

安定供給
能力の確保

Vision 4

次世代産業への発展

- ・持続可能な産業成長の追求
- ・環境保護を目的とした製造環境や包装材料等の改善
- ・労働環境の改善や地域社会への貢献

Vision1 自社の強みや特徴を活かした経営

自社の役割を明確化し、存在価値を高め変化に対応していく。
それぞれの強みを相互に活用・補完し、ジェネリック医薬品の供給責任を
永続的に果たしていく。

自社の強みや特徴を明確化し、存在価値を高める

- 総合型企业：再編・統合・適切な品目削除によるシェアの拡大や生産性・収益性の向上
- 特化型企业：自社の強みを生かした領域へ品目を集約し、市場に合った適切な規模で安定的に供給
- 受託併用型企业：培ったノウハウやリソースを活かし、開発から生産までを一気通貫で対応

特徴ある製品開発や付加価値を高める取り組み

- 新剤型等の飲みやすさの工夫
- ドラッグデリバリーシステム等の投与方法の工夫
- 新効能追加等

信頼に基づく企業間の連携・協力の推進

- 成分ごとに適正な生産量を確保できる企業での連携・協力
- サプライチェーンの共通化でコストアップの抑制と調達の安定化
- 効率的な共同生産体制の確立

Vision 2 モノづくり力のさらなる強化

モノづくり力はメーカーの基本であり、成長の源泉。そのキーコンピテンシーを強化していく。医療インフラであるジェネリック医薬品の供給責任を果たすうえでは、生産能力の強化は不可欠。

投資と利益の循環で、製造設備の強化を図る

- 自社の強みを生かした領域に絞り、製造設備への効率の良い投資を継続し、利益循環を作り出す
- 工場の再編成や最新設備の導入を行い、最適化や生産性の向上による収益性の強化や改善を図る
- 品質管理や品質保証、生産管理、製造技術分野での新たな技術の開発

自動化や省人化で、人不足の解消を図る

- ロボットやIoTとセンサー技術の活用で、自動化技術を導入する
- 生産プロセスの見直しやデジタル技術の活用で、効率的な人材運用を行う
- 工場内物流の自動化に取り組む

人材の育成と、技術の伝承を図る

- クオリティカルチャーの醸成に向けた継続的な人材育成や定着のための研修教育を行う
- 体制強化に向けた積極的な人材への投資と、生産労働体制の整備を行う

「Beyond 90%」——普及達成から次なる価値創造フェーズへ。

異業種連携により産業の枠を超え、新たな事業を創出する

- 他産業との連携により、健康管理や予防、診断、治療、予後におけるヘルスケアソリューションの提供
- 医療アプリ等他業界との連携で、デジタルヘルスなどの新たな市場を開拓

海外市場へ進出し、新たな市場を開拓する

- 「付加価値医薬品」の開発による新たな市場領域、海外市場への進出
- 他国の医薬品製造基盤整備への貢献と医薬品企業としての国際的認知・信頼の獲得
- 海外生産拠点を確保し、柔軟な生産能力の確保や特定市場へのアクセスの強化を図る

薬事規制のハーモナイゼーションの進展に積極的に取り組む

- ハーモナイゼーションへの取り組み等により日本の国際的なプレゼンスの向上に努める

長期的な企業価値の創出や持続可能な産業の発展に寄与するためには、各企業が社会的責任を果たすための活動の強化が必要である。

持続可能な産業成長の追求

- ガバナンス・コンプライアンス・リスクマネジメントを徹底する
- 各社戦略に沿った新たな成長ドライバーを模索する
- 災害、国際情勢や為替等に左右されない体質に強化する

環境保護を目的とした製造環境や包装材料等の改善

- カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進する
- 環境に配慮した工場や生産プロセスを採用し、環境への影響を最小限に抑える
- 環境にやさしい包装材料の活用やリサイクル化に積極的に取り組む

労働環境の改善や地域社会への貢献

- 多様性のある働き方を推進する
- 地域雇用を創出することで地域経済の維持や活性化に寄与する
- 地域活動へ積極的に参加することで地域社会に貢献し続ける